

### Ⅲ 母子保健に関する市民意識調査

「母子保健に関する市民意識調査」(4 か月児調査、10 か月児調査、1 歳 6 か月児調査、3 歳児調査)の集計結果は以下のとおりとなっている。また、本調査において、前回調査(平成 29 年「母子保健に関する市民意識調査」)、前々回調査(平成 24 年「母子保健に関する市民意識調査」と比較可能な項目については、前回調査、前々回調査の調査結果と比較している。なお、文章中の「養育者」とは、本調査の回答者のことである。

#### 1 喫煙・飲酒習慣について

##### (1) 妊娠中の喫煙

母親の妊娠中の喫煙状況について聞いたところ、「もともと吸っていない」が 83.3%と最も高く、以下、「以前は吸っていたが妊娠を機にやめた」が 13.3%などとなっている。

子どもの年齢による差はほとんどみられない。

前回と比べると、「もともと吸っていない」の割合は 6.9 ポイント増加している。

表Ⅲ-1 妊娠中の喫煙

		上段:実数、下段:%					
	調査数	を以 吸前 つと て同 いじ た本 数	数吸 をっ 減て らい した た本	やた以 めが前 た妊は 娠吸 をつ 機て にい	いも ないも と吸 つて	わ か ら な い	無 回 答
全 体	2717	6	65	362	2263	3	18
	100.0	0.2	2.4	13.3	83.3	0.1	0.7
	4 か月児	738	—	14	86	633	4
	100.0	—	1.9	11.7	85.8	0.1	0.5
	10か月児	658	3	11	83	555	6
100.0	0.5	1.7	12.6	84.3	—	0.9	
1 歳 6 か月児	687	2	22	98	562	—	3
100.0	0.3	3.2	14.3	81.8	—	0.4	
3 歳児	634	1	18	95	513	2	5
100.0	0.2	2.8	15.0	80.9	0.3	0.8	
前回調査	2966	13	89	510	2265	2	87
	100.0	0.4	3.0	17.2	76.4	0.1	2.9

妊娠中の喫煙と養育者の年齢との関係を見ると、「もともと吸っていない」の割合は20歳～39歳では、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、「以前は吸っていたが妊娠を機にやめた」は、年齢が下がるにつれて高くなっている。

表III-2 妊娠中の喫煙（養育者の年齢別）

	調査数	上段：実数、下段：%						
		を以前と 同じ本数	吸って 減らした 本数	やめた 妊娠を 機にい	以前は 吸って いない	もとも と吸っ て	わから ない	無回 答
全体	2717 100.0	6 0.2	65 2.4	362 13.3	2263 83.3	3 0.1	18 0.7	
養育者の 年齢	19歳以下	4 100.0	- -	- -	- -	4 100.0	- -	- -
	20歳～24歳	85 100.0	- -	7 8.2	23 27.1	55 64.7	- -	- -
	25歳～29歳	454 100.0	2 0.4	16 3.5	72 15.9	361 79.5	- -	3 0.7
	30歳～34歳	946 100.0	1 0.1	19 2.0	122 12.9	797 84.2	- -	7 0.7
	35歳～39歳	873 100.0	2 0.2	15 1.7	103 11.8	747 85.6	2 0.2	4 0.5
	40歳以上	347 100.0	1 0.3	8 2.3	41 11.8	292 84.1	1 0.3	4 1.2
	無回答	8 100.0	- -	- -	1 1.0	7 7.0	- -	- -

※「19歳以下」は調査数が4と少ないため参考値とする。

## (2) 妊娠中の同居者の喫煙

妊娠中の同居者の喫煙状況について聞いたところ、「吸っている人はいない」が55.8%で過半数を占め、次いで「吸っている人はいたが、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していた」が32.1%となっている。なお、「吸っている人がおり、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していなかった」は2.5%と少なくなっている。

子どもの年齢別では、いずれの年齢でも「吸っている人はいたが、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していた」と「吸っている人はいない」を合わせた割合が、85%以上となっている。

前回調査と比べると、「吸っている人はいない」と「吸っている人はいたが、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していた」を合わせた割合に変化はみられない。また、「吸っている人がおり、たばこの煙を吸わせないように配慮していなかった」の割合も、前回と横ばいであり、妊娠中の母親の受動喫煙は発生しにくい環境にあると考えられる。

表Ⅲ－3 妊娠中の同居者の喫煙

	調査数	上段:実数、下段:%					
		かな つ た よ ば に 配 慮 し て い わ な せ 妊	婦 に た ば こ の 煙 を 吸 お り 、 妊	吸 つ て い る 人 は い な い	を 吸 つ て い る 人 は い た が 、 妊 婦 に た ば こ の 煙 を 吸 お せ な い よ う に 配 慮 し て い た	吸 つ て い る 人 は い な い	同 居 人 は い な か っ た
全 体	2717 100.0	67 2.5	872 32.1	1516 55.8	244 9.0	2 0.1	16 0.6
4 か月児	738 100.0	11 1.5	236 32.0	423 57.3	64 8.7	1 0.1	3 0.4
10か月児	658 100.0	19 2.9	201 30.5	359 54.6	72 10.9	-	7 1.1
1 歳6 か月児	687 100.0	12 1.7	229 33.3	395 57.5	48 7.0	-	3 0.4
3 歳児	634 100.0	25 3.9	206 32.5	339 53.5	60 9.5	1 0.2	3 0.5
前回調査	2966 100.0	78 2.6	1109 37.4	1505 50.7	188 6.3	1 0.0	85 2.9

妊娠中の同居者の喫煙と養育者の年齢との関係を見ると、「吸っている人はいない」の割合は、20歳以上では年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、「吸っている人はいたが、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していた」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向がみられる。

表Ⅲ－4 妊娠中の同居者の喫煙（養育者の年齢別）

	調査数	かな っ た	たよ う に 配 慮 し て い わ せ な	いせ た い よ う に 配 慮 し て	が、 つ た い よ う に 配 慮 し て	吸 っ て い る 人 は	い な い 人 は	同 居 人 は い な か っ た	上段：実数、下段：%	
									わ か ら な い	無 回 答
全 体	2717 100.0	67 2.5	872 32.1	1516 55.8	244 9.0	2 0.1	16 0.6			
養育者の 年 齢	19歳以下	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -			
	20歳～24歳	85 100.0	5 5.9	46 54.1	28 32.9	6 7.1	- -			
	25歳～29歳	454 100.0	10 2.2	168 37.0	231 50.9	43 9.5	- -	2 0.4		
	30歳～34歳	946 100.0	17 1.8	301 31.8	527 55.7	91 9.6	1 0.1	9 1.0		
	35歳～39歳	873 100.0	26 3.0	243 27.8	528 60.5	74 8.5	0 -	2 0.2		
	40歳以上	347 100.0	7 2.0	108 31.1	199 57.3	29 8.4	1 0.3	3 0.9		
	無回答	8 100.0	- -	- -	1 1.0	7 7.0	- -	- -		

※「19歳以下」は調査数が4と少ないため参考値とする。

妊娠中の同居者の喫煙状況と妊娠中の母親の喫煙状況の関係をみたところ、妊娠中の母親が「以前は吸っていたが妊娠を機にやめた」、《吸っていたが本数を減らした》では、同居者の喫煙について「吸っている人はいたが、妊婦にたばこの煙を吸わせないように配慮していた」の割合がいずれも約60%で全体の割合を大きく上回っている。

また、妊娠中の母親が「もともと吸っていない」では、同居者の「吸っている人はいない」の割合が61.7%で最も高くなっている。

表Ⅲ-5 妊娠中の同居者の喫煙（妊娠中の母親の喫煙状況別）

		上段:実数、下段:%						
	調査数	てわ妊吸 いせ婦っ なないに かいたよ つたうば この煙を に配慮し 吸	しわが吸 てせ、っ いなたい たいばい よこの人 うの煙は に配慮を 吸	い吸 ない いて いる人 は	同居 人はい なかつ た	わ か ら な い	無 回 答	
全 体		2717 100.0	67 2.5	872 32.1	1516 55.8	244 9.0	2 0.1	16 0.6
妊 娠 中 の 喫 煙	以前と同じ本数を 吸っていた	6 100.0	4 66.7	-	2 33.3	-	-	-
	吸っていたが本数を 減らした	65 100.0	11 16.9	45 69.2	5 7.7	4 6.2	-	-
	以前は吸っていたが 妊娠を機にやめた	362 100.0	14 3.9	214 59.1	107 29.6	27 7.5	-	-
	もともと吸っていない	2263 100.0	38 1.7	612 27.0	1397 61.7	212 9.4	1 0.0	3 0.1
	わからない	3 100.0	-	-	2 66.7	-	1 33.3	-
	無回答	18 100.0	-	1 5.6	3 16.7	1 5.6	-	13 72.2

(3) 現在の家庭内での喫煙状況

現在の母親または同居者の喫煙状況について聞いたところ、「吸っている人はいない」が67.4%で最も高く、次いで「吸っている人はいるが、子どもにたばこの煙を吸わせないように配慮している」が30.0%などとなっている。

子どもの年齢による差はみられない。

前回調査と比べると、「吸っている人はいない」と「吸っている人はいるが、子どもにたばこの煙を吸わせないように配慮している」を合わせた割合は2.2ポイント増加している。一方、「吸っている人がおり、子どもにたばこの煙を吸わせないように配慮していなかった」は全体で2.0%と、前回より0.3ポイント微増しているものの、妊娠中の母親の受動喫煙は発生しにくい環境にあると考えられる。

表Ⅲ－6 現在の家庭内での喫煙状況

		上段:実数、下段:%				
	調査数	うのり吸 に煙、っ 配を子 慮吸どい しわも てせに いなた がいば いよこ	うのが吸 に煙、っ 配を子 慮吸どい しわも てせに いなた はいば いよこ	い吸 なっ いて いる 人 は	わ か ら な い	無 回 答
全 体	2717 100.0	54 2.0	816 30.0	1831 67.4	2 0.1	14 0.5
4 か月児	738 100.0	7 0.9	231 31.3	497 67.3	1 0.1	2 0.3
10か月児	658 100.0	14 2.1	196 29.8	442 67.2	－	6 0.9
1歳6 か月児	687 100.0	13 1.9	208 30.3	463 67.4	－	3 0.4
3 歳児	634 100.0	20 3.2	181 28.5	429 67.7	1 0.2	3 0.5
前回調査	2966 100.0	51 1.7	1080 36.4	1745 58.8	3 0.1	87 2.9

養育者の年齢との関係をみると、「吸っている人はいない」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。また、「吸っている人はいたが、子どもにたばこの煙を吸わせないように配慮している」は、年齢が下がるにつれて高くなる傾向がみられる。

表Ⅲ-7 現在の家庭内での喫煙状況（養育者の年齢別）

		上段：実数、下段：%					
		うのり吸 に煙、っ 配を子 慮吸どい しわもる てせに人 いなたが ないばお いよこ	うのが吸 に煙、っ 配を子 慮吸どい しわもる てせに人 いなたが いなばい よこる	い吸 なっ てい る人 は	わ か ら な い	無 回 答	
全体	2717 100.0	54 2.0	816 30.0	1831 67.4	2 0.1	14 0.5	
養育者の 年齢	19歳以下	4 100.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-
	20歳～24歳	85 100.0	3 3.5	44 51.8	37 43.5	1 1.2	-
	25歳～29歳	454 100.0	8 1.8	160 35.2	284 62.6	-	2 0.4
	30歳～34歳	946 100.0	13 1.4	285 30.1	640 67.7	1 0.1	7 0.7
	35歳～39歳	873 100.0	16 1.8	223 25.5	632 72.4	-	2 0.2
	40歳以上	347 100.0	13 3.7	99 28.5	232 66.9	-	3 0.9
	無回答	8 100.0	-	3 37.5	5 62.5	-	-

※「19歳以下」は調査数が4と少ないため参考値とする。

#### (4) 妊娠中の飲酒

母親の妊娠中の飲酒状況について聞いたところ、「飲んでいない」が95.7%で、妊娠中に飲酒している人の割合は10%未満と少なくなっている。

子どもの年齢による差はみられない。

前回調査と比べると、「飲んでいない」の割合は5.3ポイント高くなっている。

表III-8 妊娠中の飲酒

	調査数	上段:実数、下段:%						
		週に3回以上	週に1〜2回	月に1〜2回	1 妊 0 娠 回 中 未 満	飲 ん で い ない	わ か ら ない	無 回 答
全 体	2717	5	10	10	78	2599	2	13
	100.0	0.2	0.4	0.4	2.9	95.7	0.1	0.5
4 か月児	738	3	1	—	19	712	1	2
	100.0	0.4	0.1	—	2.6	96.5	0.1	0.3
10か月児	658	1	5	2	13	633	—	4
	100.0	0.2	0.8	0.3	2.0	96.2	—	0.6
1 歳6 か月児	687	1	0	3	26	654	—	3
	100.0	0.1	0.0	0.4	3.8	95.2	—	0.4
3 歳児	634	—	4	5	20	600	1	4
	100.0	—	0.6	0.8	3.2	94.6	0.2	0.6
前回調査	2966	4	17	31	148	2681	—	85
	100.0	0.1	0.6	1.0	5.0	90.4	—	2.9

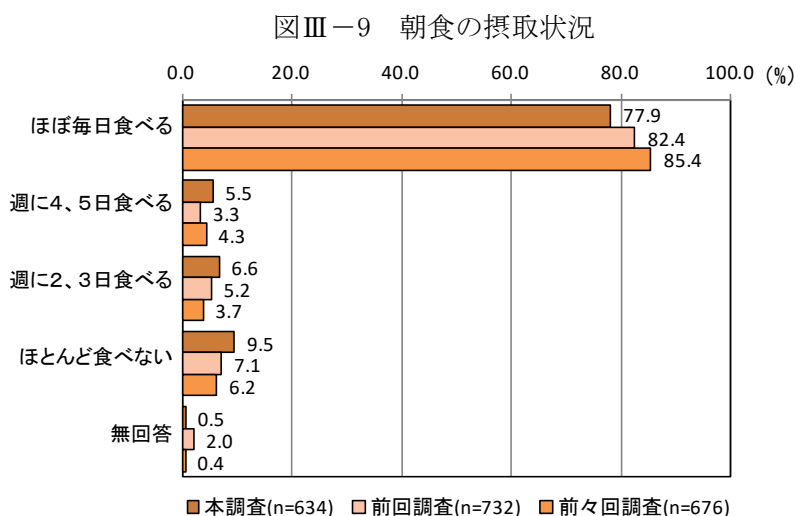


## 2 朝食の摂取状況

### (1) 養育者の朝食の摂取状況【3歳児】

3歳児を持つ養育者634人に朝食の摂取状況について聞いたところ、「ほぼ毎日食べる」が77.9%と最も高く、「ほとんど食べない」は9.5%、「週に2、3日食べる」は6.6%などとなっている。

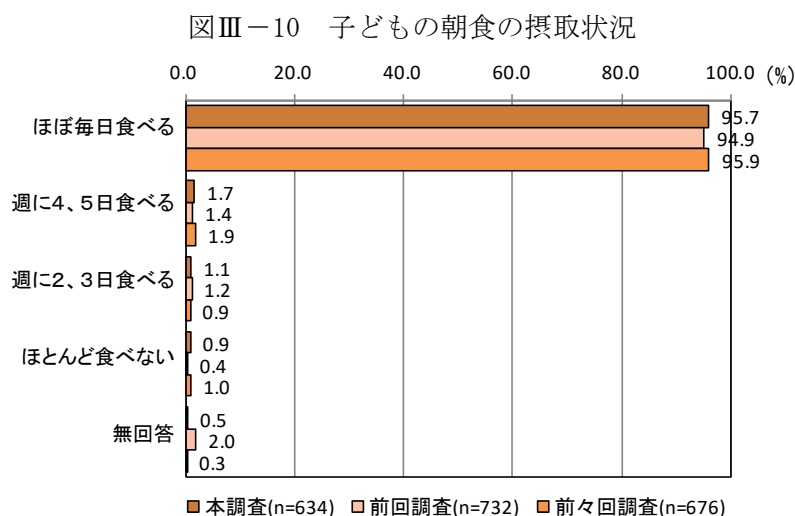
前回調査と比べると、「ほぼ毎日食べる」の割合は4.5ポイント減少しており、前々回の調査から減少傾向にある。



### (2) 子どもの朝食の摂取状況【3歳児】

3歳児を持つ養育者634人に子どもの朝食の摂取状況について聞いたところ、「ほぼ毎日食べる」が95.7%と大半を占めている。

前回調査と比べると、その割合は0.8ポイント微増加しているものの、各項目で大きな差はみられない。



養育者の朝食の摂取状況と子どもの朝食の摂取状況の関係をみると、養育者が「ほぼ毎日食べる」人では、子どもも「ほぼ毎日食べる」が98.2%と高くなっている。

養育者の朝食の摂取状況が悪くなるにつれ、子どもの朝食の摂取の状況も悪くなる傾向がみられる。

表Ⅲ－11 養育者の朝食の摂取状況と子どもの朝食の摂取状況

		上段:実数、下段:%					
		調査数	食 ほぼ毎日 べる	食 週 べに る 4、 5日	食 週 べに る 2、 3日	食 ほと んど 食べ ない	無 回 答
全 体		634 100.0	607 95.7	11 1.7	7 1.1	6 0.9	3 0.5
養育者の 朝食の 摂取 状況	ほぼ毎日食べる	494 100	485 98.2	5 1.0	3 0.6	1 0.2	— —
	週に4、5日 食べる	35 100.0	33 94.3	2 5.7	— —	— —	— —
	週に2、3日 食べる	42 100.0	38 90.5	2 4.8	— —	2 4.8	— —
	ほとんど 食べない	60 100.0	51 85.0	2 3.3	4 6.7	3 5.0	— —
	無回答	3 100.0	— —	— —	— —	— —	3 100.0

### 3 育児・医療について

#### (1) 育児への自信の有無

育児に自信が持てないことがあるかについて聞いたところ、「自信が持てないときがある」が58.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.2%、「自信がある」9.0%などとなっている。

子どもの年齢で見ると、「自信がある」と回答した割合は4か月児で最も高く、「いつも自信が持てない」と回答した割合は3歳児が最も高くなっている。

表Ⅲ-12 育児への自信の有無

		上段:実数、下段:%					
	調査数	自信がある	と自信が あてない	いど えち なら とも	持だ てい ない 自信 が	持い てつ ない 自信 が	無 回 答
全 体	2717	244	1578	604	238	39	14
	100.0	9.0	58.1	22.2	8.8	1.4	0.5
4 か月児	738	97	425	146	57	9	4
	100.0	13.1	57.6	19.8	7.7	1.2	0.5
10か月児	658	54	386	152	57	5	4
	100.0	8.2	58.7	23.1	8.7	0.8	0.6
1 歳6 か月児	687	48	385	176	65	10	3
	100.0	7.0	56.0	25.6	9.5	1.5	0.4
3 歳児	634	45	382	130	59	15	3
	100.0	7.1	60.3	20.5	9.3	2.4	0.5

養育者の年齢との関係を見ると、「自信を持ってないときがある」の割合は、25～29歳、30～34歳、35～39歳では50%台後半であるのに対し、20～24歳は48.2%で最も低くなっている。

表Ⅲ-13 育児への自信の有無（養育者の年齢別）

		上段:実数、下段:%						
		調査数	自信がある	自信を持ってないときがある	どちらでもない	だいたい自信が持てない	持てない自信が	無回答
全体		2717 100.0	244 9.0	1578 58.1	604 22.2	238 8.8	39 1.4	14 0.5
養育者の年齢	19歳以下	4 100.0	-	2 50.0	2 50.0	-	-	-
	20歳～24歳	85 100.0	20 23.5	41 48.2	18 21.2	5 5.9	1 1.2	-
	25歳～29歳	454 100.0	55 12.1	271 59.7	96 21.1	22 4.8	8 1.8	2 0.4
	30歳～34歳	946 100.0	81 8.6	558 59.0	190 20.1	98 10.4	12 1.3	7 0.7
	35歳～39歳	873 100.0	61 7.0	517 59.2	194 22.2	84 9.6	15 1.7	2 0.2
	40歳以上	347 100.0	25 7.2	185 53.3	102 29.4	29 8.4	3 0.9	3 0.9
	無回答	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	-	-	-

※「19歳以下」は調査数が4と少ないため参考値とする。

## (2) 子育ての心配事

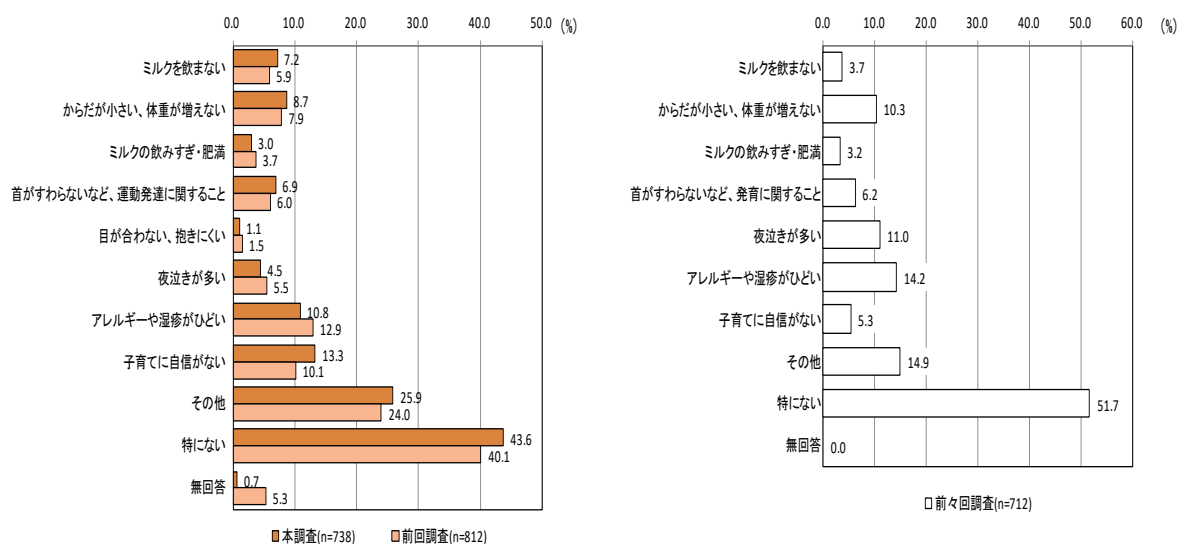
子育ての心配事について、子どもの年齢（調査票）ごとに結果を整理した。

### 【4か月児】

「特にない」が43.6%で最も多い。心配事が《ある》とした人は55.7%で、その内容は「子育てに自信がない」が13.3%、「アレルギーや湿疹がひどい」が10.8%などとなっている。なお、「その他」（25.9%）の主な内容としては、「上の子（兄弟姉妹）との関わり方」、「子育てに関するお金のこと」、「病気や事故」、「母乳・離乳食などの食事に関すること」、「寝つきの悪さなど睡眠に関すること」となっている。また、「新型コロナウイルスに関すること」も多くみられた。

前回調査と比べると、心配事が《ある》とした人は1.1ポイント増加している。また、心配事の中では、「ミルクを飲まない」が1.3ポイント、「子育てに自信がない」が3.2ポイント、増加し、「夜泣きが多い」が1.0ポイント、「アレルギーや湿疹がひどい」が2.1ポイント減少している。

図Ⅲ-14 子育ての心配事【4か月児】

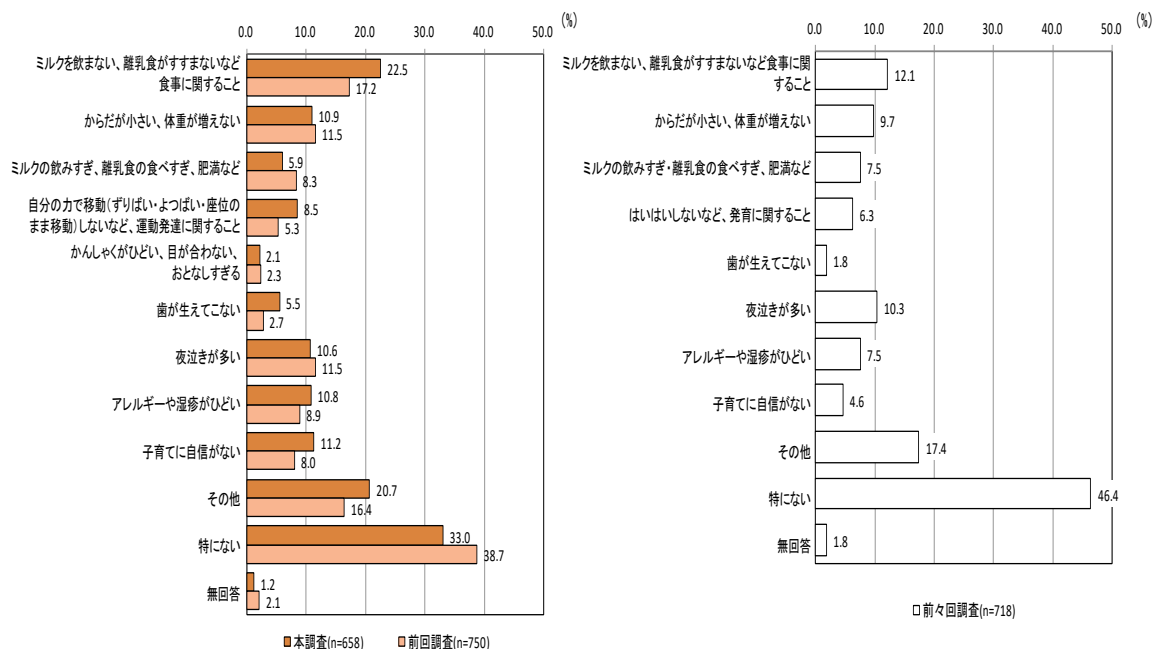


### 【10 か月児】

「特にない」が33.0%で最も多い。心配事が《ある》とした人は65.8%で、その内容は「ミルクを飲まない、離乳食がすすまないなど食事に関すること」が22.5%、「子育てに自信がない」が11.2%、「からだ小さい、体重が増えない」が10.9%などとなっている。なお、「その他」(20.7%)の主な内容としては、「新型コロナウイルスなどの病気や健康に関すること」、「仕事との両立」、「育児の仕方」などとなっている。

前回調査と比べると、心配事が《ある》とした人は6.6ポイント増加している。また、心配事の中では、「ミルクを飲まない、離乳食がすすまないなど食事に関すること」が5.3ポイント、「子育てに自信がない」が3.2ポイント、「歯が生えてこない」が2.8ポイント、「その他」が4.3ポイント増加している。

図Ⅲ-15 子育ての心配事【10 か月児】

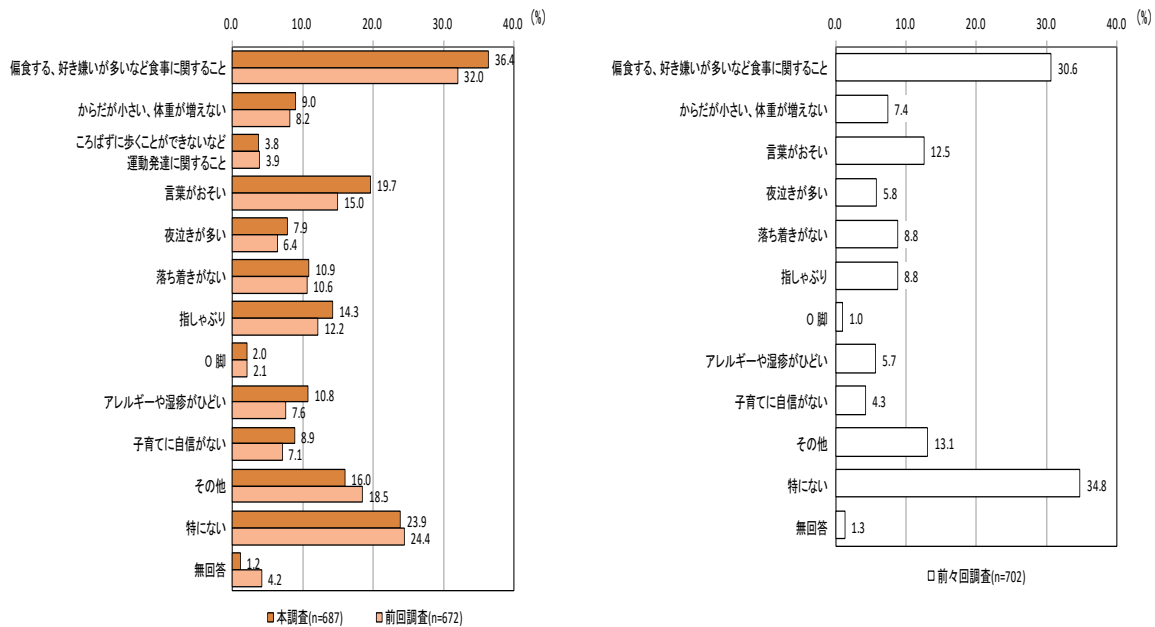


【1歳6か月児】

心配事が《ある》とした人は74.9%で、その内容は「偏食する、好き嫌いが多いなど食事に関すること」が36.4%で最も多く、次いで、「言葉がおそい」が19.7%、「その他」が16.0%、「指しゃぶり」が14.3%などとなっている。なお、「その他」(16.0%)の主な内容としては、「イヤイヤ期の対応」、「卒乳(乳離れ)できていない」、「歯みがきなどの育児の仕方」などとなっている。

前回調査と比べると、心配事が《ある》とした人は3.6ポイント増加している。また、心配事の中では、「偏食する、好き嫌いが多いなど食事に関すること」が4.4ポイント、「言葉がおそい」が4.7ポイント、「指しゃぶり」が2.1ポイント、「アレルギー湿疹がひどい」が3.2ポイント、「子育てに自信がない」が1.8ポイント増加している。

図Ⅲ-16 子育ての心配事【1歳6か月児】

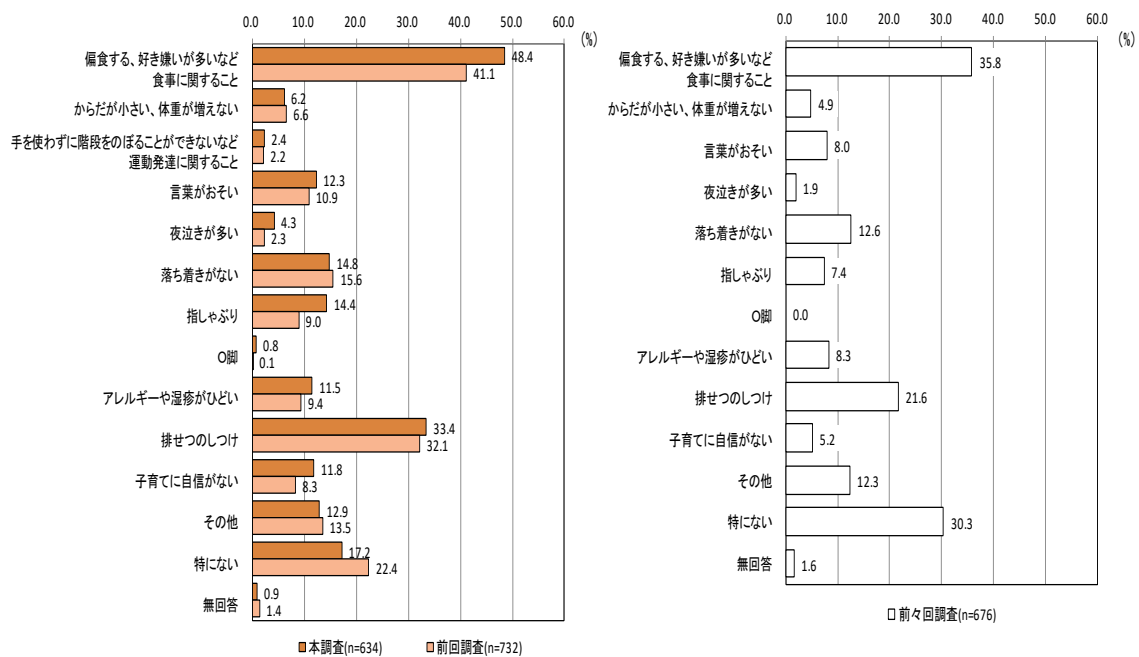


### 【3歳児】

心配事が「ある」とした人は81.9%で、その内容は「偏食する、好き嫌いが多いなど食事に関すること」が48.4%で最も多く、次いで、「排せつのしつけ」が33.4%、「落ち着きがない」が14.8%などとなっている。なお、「その他」(12.9%)の主な内容としては、「かんしゃくをおこす」、「子どものしかり方」、「発達障害があるのではないかなど発育に関する事」などとなっている。

前回調査と比べると、心配事が「ある」とした人は5.7ポイント増加している。また、心配事の中では、「偏食する、好き嫌いが多いなど食事に関すること」が7.3ポイント、「指しゃぶり」が5.4ポイント、「子育てに自信がない」が3.5ポイント増加している。

図Ⅲ-17 子育ての心配事【3歳児】





### (3) 育児についての情報の入手先

育児についての情報の入手先について聞いたところ、「インターネット」の割合が88.3%と最も高く、次いで「友人・知人」が71.3%、「家族・親戚」が66.1%、「育児書・雑誌など」が31.8%などとなっている。

子どもの年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて、「インターネット」、「育児書・雑誌など」、「保健センター」の割合は減少し、一方、「保育園・幼稚園・幼児教室などの先生」では増加している。「育児書・雑誌など」では、3歳児が25.1%と他の年齢に比べ低くなっている。

前回調査と比べると、「インターネット」は8.2ポイント増加し、一方「育児書・雑誌など」、「保育園・幼稚園・幼児教室などの先生」、「家族・親戚」、「保健センター」、「テレビ・ラジオ」はそれぞれ6.5ポイント、5.6ポイント、3.9ポイント、9.0ポイント、6.3ポイントの減少となっている。

表Ⅲ-18 育児についての情報の入手先

	調査数	保健センター	市区役所や区役所の窓	テレビ・ラジオ	インターネット	育児書・雑誌など	保育園・幼稚園・幼児教室などの先生	医師や看護師などの医療関係者	児童相談所	友人・知人	家族・親戚	上段:実数、下段:%		
												その他	特にない	無回答
全体	2717 100.0	588 21.6	88 3.2	626 23.0	2398 88.3	864 31.8	1102 40.6	642 23.6	9 0.3	1938 71.3	1797 66.1	151 5.6	18 0.7	7 0.3
4か月児	738 100.0	193 26.2	37 5.0	137 18.6	679 92.0	269 36.4	174 23.6	216 29.3	3 0.4	533 72.2	529 71.7	46 6.2	1 0.1	1 0.1
10か月児	658 100.0	158 24.0	20 3.0	143 21.7	594 90.3	238 36.2	224 34.0	158 24.0	2 0.3	468 71.1	425 64.6	47 7.1	3 0.5	1 0.2
1歳6か月児	687 100.0	129 18.8	17 2.5	195 28.4	599 87.2	198 28.8	338 49.2	164 23.9	1 0.1	491 71.5	467 68.0	37 5.4	6 0.9	3 0.4
3歳児	634 100.0	108 17.0	14 2.2	151 23.8	526 83.0	159 25.1	366 57.7	104 16.4	3 0.5	446 70.3	376 59.3	21 3.3	8 1.3	2 0.3
前回調査	2966 100.0	908 30.6	86 2.9	869 29.3	2377 80.1	1135 38.3	1039 35.0	635 21.4	20 0.7	2339 78.9	2077 70.0	127 4.3	25 0.8	13 0.4

出生順位別にみると、「育児書・雑誌など」、「保健センター」の割合は、第1子で最も高い。「保育園・幼稚園・幼児教室などの先生」の割合は、第2子以上でいずれも約50%超と高く、第1子(30.4%)との差が大きくなっている。

表Ⅲ-19 育児についての情報の入手先(出生順位別)

	調査数	保健センター	市区役所や区役所の窓	テレビ・ラジオ	インターネット	育児書・雑誌など	保育園・幼稚園・幼児教室などの先生	医師や看護師などの医療関係者	児童相談所	友人・知人	家族・親戚	上段:実数、下段:%			
												その他	特にない	無回答	
全体	2717 100.0	588 21.6	88 3.2	626 23.0	2398 88.3	864 31.8	1102 40.6	642 23.6	9 0.3	1938 71.3	1797 66.1	151 5.6	18 0.7	7 0.3	
出生順位	第1子	1445 100.0	335 23.2	50 3.5	280 19.4	1288 89.1	519 35.9	440 30.4	330 22.8	4 0.3	1016 70.3	975 67.5	104 7.2	3 0.2	3 0.2
	第2子	921 100.0	179 19.4	28 3.0	258 28.0	805 87.4	266 28.9	471 51.1	222 24.1	4 0.4	691 75.0	609 66.1	38 4.1	10 1.1	1 0.1
	第3子以上	343 100.0	72 21.0	10 2.9	88 25.7	300 87.5	79 23.0	188 54.8	87 25.4	1 0.3	227 66.2	209 60.9	8 2.3	5 1.5	3 0.9
	無回答	8 100.0	2 25.0	-	-	5 62.5	-	3 37.5	3 37.5	-	4 50.0	4 50.0	1 12.5	-	-

(4) 育児に関する相談相手

育児について悩んだ時や相談したい時、だれ（どこ）に相談するかを聞いたところ、「配偶者（夫または妻）・パートナー」が86.6%と最も高く、次いで「母親」が72.4%、「友人・知人」が66.9%などとなっている。

子どもの年齢別で見ると、「保育園・幼稚園・幼児教室などの先生」の割合は、年齢が上がるにつれて高くなっており、「母親」の割合は、年齢が上がるにつれて低くなっている。

なお、前回調査と大きな差はみられない。

表Ⅲ-20 育児に関する相談相手

	調査数	上段:実数、下段:%									
		妻配偶者（夫またはパートナー）	母親	父親	兄弟姉妹	その他の親族	友人・知人	近隣の人	子育てサークル	児保育園・幼稚園・幼児教室などの先生	医療機関
全体	2717 100.0	2352 86.6	1966 72.4	277 10.2	787 29.0	273 10.0	1818 66.9	98 3.6	111 4.1	916 33.7	494 18.2
4か月児	738 100.0	646 87.5	568 77.0	97 13.1	232 31.4	88 11.9	490 66.4	25 3.4	22 3.0	132 17.9	166 22.5
10か月児	658 100.0	585 88.9	477 72.5	45 6.8	170 25.8	55 8.4	451 68.5	17 2.6	34 5.2	175 26.6	129 19.6
1歳6か月児	687 100.0	589 85.7	494 71.9	79 11.5	198 28.8	74 10.8	449 65.4	25 3.6	34 4.9	270 39.3	107 15.6
3歳児	634 100.0	532 83.9	427 67.4	56 8.8	187 29.5	56 8.8	428 67.5	31 4.9	21 3.3	339 53.5	92 14.5

(続き)

	保健センター	児童相談所	カウンセラー	インターネット	ラジオ	その他	相談する相手がいない	特に悩みごとはない	無回答
全体	334 12.3	12 0.4	10 0.4	486 17.9	3 0.1	78 2.9	11 0.4	7 0.3	8 0.3
4か月児	106 14.4	4 0.5	1 0.1	165 22.4	-	23 3.1	2 0.3	1 0.1	2 0.3
10か月児	94 14.3	2 0.3	0 0.0	113 17.2	-	20 3.0	5 0.8	3 0.5	2 0.3
1歳6か月児	74 10.8	2 0.3	4 0.6	134 19.5	2 0.3	16 2.3	0 0.0	1 0.1	3 0.4
3歳児	60 9.5	4 0.6	5 0.8	74 11.7	1 0.2	19 3.0	4 0.6	2 0.3	1 0.2

前回調査	2966 100.0	2573 86.7	2216 74.7	288 9.7	854 28.8	319 10.8	2205 74.3	143 4.8	221 7.5	826 27.8	432 14.6
------	---------------	--------------	--------------	------------	-------------	-------------	--------------	------------	------------	-------------	-------------

(続き)

前回調査	388 13.1	12 0.4	9 0.3	455 15.3	2 0.1	49 1.7	18 0.6	13 0.4	12 0.4
------	-------------	-----------	----------	-------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------

(5) 養育者のこころのゆとり

ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間があるかを聞いたところ、「ある」が90.8%、「ない」が8.7%となっている。

子どもの年齢別で見ると、「ある」の割合は、4か月児で95.3%であるのに対し、3歳児では87.4%で、年齢が高くなるほど減少している。

なお、前回調査と大きな差はみられない。

表Ⅲ-21 養育者のこころのゆとり

		上段:実数、下段:%		
	調査数	ある	ない	無回答
全体	2717 100.0	2466 90.8	237 8.7	14 0.5
4か月児	738 100.0	703 95.3	33 4.5	2 0.3
10か月児	658 100.0	600 91.2	56 8.5	2 0.3
1歳6か月児	687 100.0	609 88.6	71 10.3	7 1.0
3歳児	634 100.0	554 87.4	77 12.1	3 0.5
前回調査	2966 100.0	2682 90.4	262 8.8	22 0.7

出生順位別にみると、「ある」の割合は、第1子が93.4%であるのに対し、第2子が87.8%、第3子が87.5%で、出生順位が遅くなるほど減少している。

表Ⅲ-22 養育者のこころのゆとり（出生順位別）

		上段:実数、下段:%			
	調査数	ある	ない	無回答	
全体	2717 100.0	2466 90.8	237 8.7	14 0.5	
出生 順位	第1子	1445 100.0	1349 93.4	89 6.2	7 0.5
	第2子	921 100.0	809 87.8	110 11.9	2 0.2
	第3子以上	343 100.0	300 87.5	38 11.1	5 1.5
	無回答	8 100.0	8 100.0	-	-

(6) 子どもへの虐待意識

子どもを虐待していると思うことがあるかを聞いたところ、「ある」が7.5%、「ない」が91.6%となっている。

子どもの年齢別で見ると、「ある」の割合は、4か月児で2.3%であるのに対し、3歳児では15.0%で、年齢が高くなるほど増加している。

前回調査と比べると、「ある」の割合は1.5ポイント減少している。

表Ⅲ-23 子どもへの虐待意識

	調査数	上段:実数、下段:%		
		ある	ない	無回答
全体	2717 100.0	203 7.5	2490 91.6	24 0.9
4か月児	738 100.0	17 2.3	717 97.2	4 0.5
10か月児	658 100.0	38 5.8	617 93.8	3 0.5
1歳6か月児	687 100.0	53 7.7	627 91.3	7 1.0
3歳児	634 100.0	95 15.0	529 83.4	10 1.6
前回調査	2966 100.0	267 9.0	2664 89.8	35 1.2

(7) 父親の育児参加

父親の育児参加について聞いたところ、育児に参加している父親は94.8%となっている。

育児参加の内容は、「子どもの遊び相手をしている」が87.9%と最も高く、次いで「子どもをお風呂に入れている」が79.6%、「外出時に子どもの世話をする」が76.9%などとなっている。

子どもの年齢別で見ると、「子どもに食事を食べさせている」の割合は、4か月児で57.0%と低くなっているのに対し、10か月児では70%を超えて高くなっている。「育児に関する悩みを聞いたり、話し相手になっている」の割合は、3歳児でやや低くなっている。

前回調査と比べると、「家事を手伝っている」の割合が11.4ポイント増加し、「子どもに食事を食べさせる」の割合も12.8ポイント増加している。また、ほとんどの選択肢で、前回調査の結果を上回っており、父親の育児参加が増えてきていると考えられる。

表Ⅲ-24 父親の育児参加

	調査数	子どもの遊び相手をしている	育児の相談にのっている	子どもをお風呂に入れている	※子どもにミルクなどを飲ませている	子どもを寝かしつけている	外出時に子どもの世話をする	育児に関する悩みを聞いたり、話し相手になっている	家事を手伝っている	その他	上段:実数、下段:%			
											お父さんが主に育児を担っている	お父さんと同居していない	育児に参加していない	無回答
全体	2717 100.0	2388 87.9	1655 60.9	2162 79.6	1782 65.6	1336 49.2	2090 76.9	1753 64.5	1871 68.9	105 3.9	17 0.6	115 4.2	29 1.1	16 0.6
4か月児	738 100.0	651 88.2	470 63.7	596 80.8	421 57.0	416 56.4	566 76.7	512 69.4	532 72.1	29 3.9	2 0.3	24 3.3	2 0.3	3 0.4
10か月児	658 100.0	590 89.7	427 64.9	537 81.6	479 72.8	338 51.4	503 76.4	445 67.6	472 71.7	31 4.7	1 0.2	22 3.3	6 0.9	3 0.5
1歳6か月児	687 100.0	605 88.1	408 59.4	542 78.9	479 69.7	309 45.0	539 78.5	433 63.0	455 66.2	27 3.9	5 0.7	30 4.4	9 1.3	4 0.6
3歳児	634 100.0	542 85.5	350 55.2	487 76.8	403 63.6	273 43.1	482 76.0	363 57.3	412 65.0	18 2.8	9 1.4	39 6.2	12 1.9	6 0.9
前回調査	2966 100.0	2552 86.0	1656 55.8	2226 75.1	1565 52.8	1133 38.2	2193 73.9	1790 60.4	1705 57.5	128 4.3	2 0.1	91 3.1	35 1.2	17 0.6

(※)

前回調査・本調査：

- 4か月児「子どもにミルクなどを飲ませている」
- 10か月児「子どもにミルクや離乳食を食べさせている」
- 1歳6か月児「子どもに食事を食べさせている」
- 3歳児「子どもに食事を食べさせている」

(8) 父親の育児参加に対する満足度

父親が育児に参加していると回答した 2572 人に、父親の育児参加にどの程度満足しているかを聞いたところ、「ほぼ満足している」が 46.5%と最も高く、次いで「満足している」が 31.3%、「あまり満足していない」が 16.5%、「満足していない」は 3.5%などとなっており、「ほぼ満足している」と「満足している」を合わせると、77.8%が《満足している》と回答している。

子どもの年齢別では、4 か月児の「満足している」の割合が 34.4%で最も高くなっている。

前回調査と比べると、「満足している」が 4.4 ポイントと増加、「ほぼ満足している」が 1.2 ポイントと微減、《満足している》の割合は増加している。

表Ⅲ-25 父親の育児参加に対する満足度

		上段:実数、下段:%				
	調査数	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答
全体	2572 100.0	806 31.3	1197 46.5	425 16.5	91 3.5	53 2.1
4 か月児	713 100.0	245 34.4	337 47.3	94 13.2	23 3.2	14 2.0
10か月児	631 100.0	195 30.9	286 45.3	115 18.2	18 2.9	17 2.7
1 歳6 か月児	647 100.0	203 31.4	293 45.3	108 16.7	28 4.3	15 2.3
3 歳児	581 100.0	163 28.1	281 48.4	108 18.6	22 3.8	7 1.2
前回調査	2821 100.0	758 26.9	1346 47.7	548 19.4	117 4.1	52 1.8

(9) 休日・夜間の救急医療機関の認知度

札幌市内に小児科の休日・夜間の救急医療機関があることを知っているかを聞いたところ、「知っている」が89.0%、「知らない」が10.4%となっている。

子どもの年齢別にみると年齢が上がるにつれて「知っている」の割合が増加傾向にある。前回調査と比べると、「知っている」の割合は1.6ポイントの微減となっている。

表Ⅲ-26 休日・夜間の救急医療機関の認知度

	調査数	上段:実数、下段:%		
		知っている	知らない	無回答
全体	2717 100.0	2418 89.0	282 10.4	17 0.6
4か月児	738 100.0	636 86.2	97 13.1	5 0.7
10か月児	658 100.0	579 88.0	75 11.4	4 0.6
1歳6か月児	687 100.0	625 91.0	58 8.4	4 0.6
3歳児	634 100.0	578 91.2	52 8.2	4 0.6
前回調査	2966 100.0	2688 90.6	220 7.4	58 2.0

(10) かかりつけ医師の有無

子どもにかかりつけの医師がいるかを聞いたところ、《かかりつけの医師がいる》人は94.0%となっている。診療科でみると「小児科」が91.4%と最も高く、次いで「歯科」が30.7%、「皮膚科」が30.6%、「耳鼻科」が22.8%などとなっている。

子どもの年齢別でみると、「皮膚科」、「歯科」、「耳鼻科」の割合は、年齢が高くなるほど増加しており、特に「歯科」で、この傾向が顕著である。

前回調査と比べると、「耳鼻科」の割合が5.3ポイント減少、「歯科」の割合が2.1ポイント増加している。

表Ⅲ-27 かかりつけ医師の有無

		上段:実数、下段:%							
	調査数	小児科	皮膚科	耳鼻科	眼科	歯科	その他	かかりつけの医師	無回答
全体	2717 100.0	2482 91.4	831 30.6	620 22.8	168 6.2	834 30.7	74 2.7	153 5.6	9 0.3
4か月児	738 100.0	637 86.3	140 19.0	69 9.3	27 3.7	68 9.2	26 3.5	73 9.9	2 0.3
10か月児	658 100.0	603 91.6	210 31.9	123 18.7	34 5.2	123 18.7	11 1.7	40 6.1	2 0.3
1歳6か月児	687 100.0	652 94.9	223 32.5	198 28.8	46 6.7	255 37.1	22 3.2	23 3.3	3 0.4
3歳児	634 100.0	590 93.1	258 40.7	230 36.3	61 9.6	388 61.2	15 2.4	17 2.7	2 0.3
前回調査	2966 100.0	2692 90.8	926 31.2	834 28.1	194 6.5	847 28.6	67 2.3	161 5.4	53 1.8



出生順位別にみると、どの選択肢でも第1子に比べ、第2子以上で高くなっている。特に「皮膚科」、「耳鼻科」、「歯科」でその傾向は顕著である。

表Ⅲ-28 かかりつけ医師の有無（出生順位別）

		上段:実数、下段:%								
		調査数	小児科	皮膚科	耳鼻科	眼科	歯科	その他	かかりつけの医	無回答
全体		2717 100.0	2482 91.4	831 30.6	620 22.8	168 6.2	834 30.7	74 2.7	153 5.6	9 0.3
出生 順位	第1子	1445 100.0	1292 89.4	390 27.0	266 18.4	61 4.2	344 23.8	40 2.8	101 7.0	5 0.3
	第2子	921 100.0	863 93.7	320 34.7	250 27.1	73 7.9	361 39.2	26 2.8	37 4.0	2 0.2
	第3子以上	343 100.0	319 93.0	120 35.0	103 30.0	34 9.9	126 36.7	8 2.3	15 4.4	2 0.6
	無回答	8 100.0	8 100.0	1 12.5	1 12.5	- -	3 37.5	- -	- -	- -

(11) フッ化物塗布の有無（新規設問）

1歳6ヶ月児・3歳児を持つ養育者1321人に子どもが定期的に歯科医院でフッ化物塗布を受けているかを聞いたところ、「受けている」が47.4%、「受けていない」が52.0%となっている。

また、1歳6ヶ月児と3歳児で比較すると、1歳6ヶ月児の「受けている」割合が33.5%、3歳児の「受けている」割合が62.5%となっており、3歳児の方が29ポイント高くなっている。

表Ⅲ-29 1歳6ヶ月児・3歳児のフッ化物塗布の有無

		上段:実数、下段:%		
	調査数	受けている	受けていない	無回答
全体	1321	626	687	8
	100.0	47.4	52.0	0.6
1歳6か月児	687	230	452	5
	100.0	33.5	65.8	0.7
3歳児	634	396	235	3
	100.0	62.5	37.1	0.5

(12) フッ化物塗布の年齢（新規設問）

フッ化物塗布の有無の質問に対して、「受けている」と回答した626人に、フッ化物塗布を受け始めたときの子どもの年齢を聞いたところ、1歳6ヶ月児では「1歳0か月以上1歳6か月未満」が59.6%、3歳児では「1歳6か月以上2歳0か月未満」が31.6%で最も多かった。

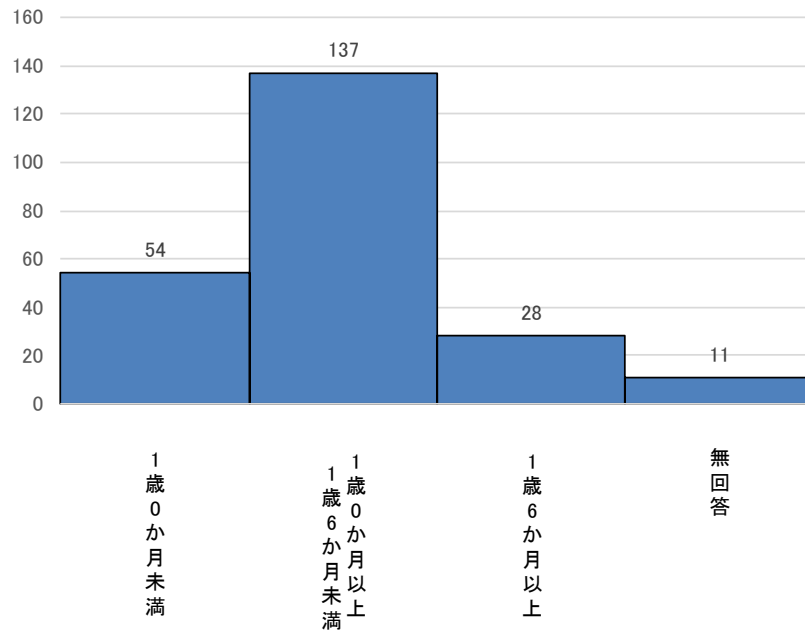
表Ⅲ-30 フッ化物塗布の年齢

		上段:実数、下段:%						
	調査数	1歳0か月未満	1歳6か月未満以上	2歳0か月未満以上	2歳6か月未満以上	3歳0か月未満以上	3歳0か月以上	無回答
全体	626	78	259	153	68	31	4	33
	100.0	12.5	41.4	24.4	10.9	5.0	0.6	5.3
1歳6か月児	230	54	137	28	-	-	-	11
	100.0	23.5	59.6	12.2	-	-	-	4.8
3歳児	396	24	122	125	68	31	4	22
	100.0	6.1	30.8	31.6	17.2	7.8	1.0	5.6

図Ⅲ-31 フッ化物塗布の年齢（ヒストグラム）

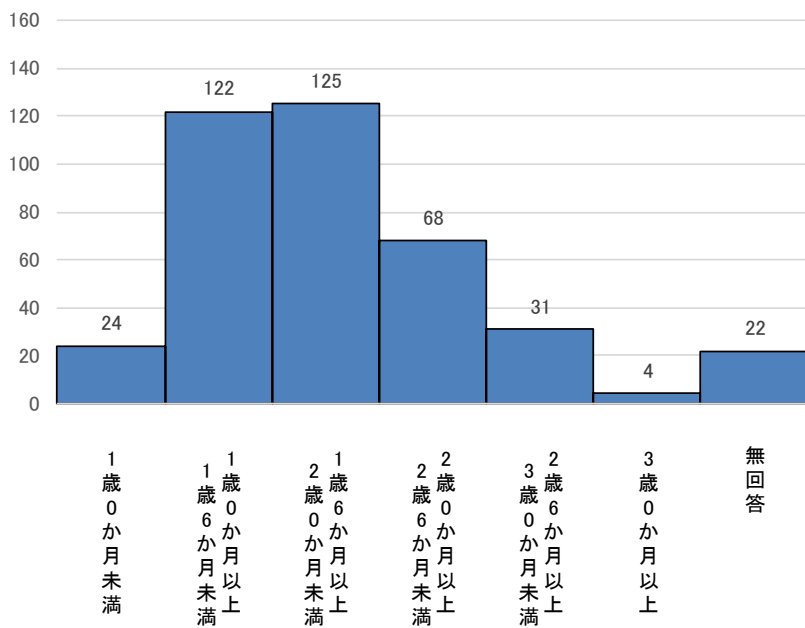
【1歳6か月児】

(件)



【3歳児】

(件)



(13) 乳幼児の心肺蘇生法の認知度

乳幼児の心肺蘇生法のしかたを知っているかを聞いたところ、「知っている」が 33.2%、「知らない」が 66.1%となっている。

子どもの年齢別にみると「知っている」の割合は年齢が高くなるにつれて増加している。前回調査と比べると、「知っている」の割合が 3.5 ポイント増加している。

表Ⅲ－32 乳幼児の心肺蘇生法の認知度

		上段:実数、下段:%		
	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	2717 100.0	903 33.2	1797 66.1	17 0.6
4 か月児	738 100.0	233 31.6	504 68.3	1 0.1
10か月児	658 100.0	221 33.6	431 65.5	6 0.9
1 歳6 か月児	687 100.0	233 33.9	448 65.2	6 0.9
3 歳児	634 100.0	216 34.1	414 65.3	4 0.6
前回調査	2966 100.0	880 29.7	1986 67.0	100 3.4

#### (14) 事故防止のための注意

子どもを事故から守るためにどのようなことに注意を払っているかを聞いたところ、「事故防止のために何らかの注意をしている」人は99.5%となっている。注意を払っていることとしては、「子どもだけにして家を留守にしない」が95.7%、「危ない物は子どもの手の届かないところに置くなどの工夫をしている」が92.9%、「車の中に子どもだけにして置いていかない」が88.3%、「暖房機器やお湯などにより、やけどをしないように気をつけている」が86.7%などとなり、上位4位までが85%を超えている。以下、「子どもがベッドやソファなど高いところにいる時は、目を離さない」が81.9%、「子どもが家の中の危険な場所に入らないようにしている」が72.9%などとなっている。

子どもの年齢別で見ると、「暖房機器やお湯などにより、やけどをしないように気をつけている」の割合は、10か月児以上で高くなっている。また、「子どもがベッドやソファなど高いところにいる時は、目を離さない」の割合は10か月児が92.6%と高く、3歳児では65.9%と低くなっており、「子どもが家の中の危険な場所に入らないようにしている」の割合は、10か月児が82.7%と他の年齢に比べ高くなっている。

前回調査と比べると、「子どもがベッドやソファなど高いところにいる時は、目を離さない」は10.5ポイント、「階段など段差がある所には落ちないように工夫をしている」は16.5ポイント増加しており、他の選択肢でも前回調査を上回っている。

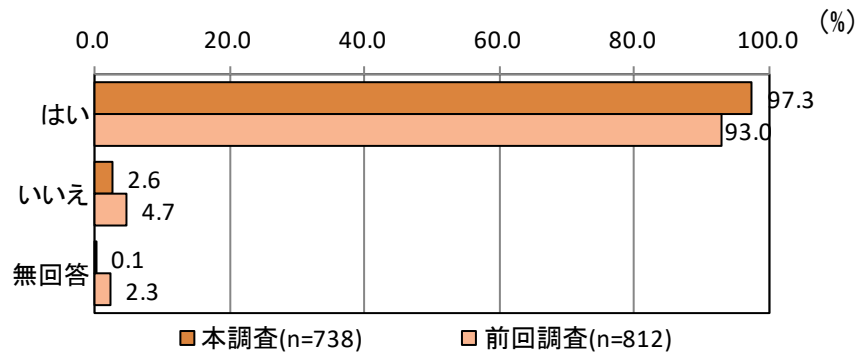
表Ⅲ-33 事故防止のための注意

		上段:実数、下段:%											
	調査数	子どもだけにして家を留守	子どもがベッドやソファ	子どもが高いところにいる	階段など段差がある所に工夫	危ない物は子どもの手の届かないところに置くなどの工夫	暖房機器やお湯などによりやけどをしないように気をつけている	車の中に子どもだけにして置いていかない	子どもがベッドやソファなど高いところにいる時は、目を離さない	子どもが家の中の危険な場所に入らないようにしている	その他	特になし	無回答
全体	2717 100.0	2601 95.7	2226 81.9	1821 67.0	2524 92.9	2356 86.7	1980 72.9	2399 88.3	169 6.2	3 0.1	10 0.4		
4か月児	738 100.0	713 96.6	648 87.8	450 61.0	644 87.3	576 78.0	458 62.1	672 91.1	35 4.7	0 0.0	1 0.1		
10か月児	658 100.0	636 96.7	609 92.6	488 74.2	627 95.3	591 89.8	544 82.7	588 89.4	42 6.4	1 0.2	3 0.5		
1歳6か月児	687 100.0	665 96.8	551 80.2	515 75.0	660 96.1	628 91.4	550 80.1	608 88.5	37 5.4	1 0.1	3 0.4		
3歳児	634 100.0	587 92.6	418 65.9	368 58.0	593 93.5	561 88.5	428 67.5	531 83.8	55 8.7	1 0.2	3 0.5		
前回調査	2966 100.0	2633 88.8	2118 71.4	1497 50.5	2589 87.3	2378 80.2	1766 59.5	2216 74.7	160 5.4	8 0.3	85 2.9		

(15) 乳幼児突然死症候群（SIDS）の周知度【4か月児】

4か月児を持つ養育者738人に乳幼児突然死症候群（SIDS）について知っているかを聞いたところ、「知っている（はい）」が97.3%、「知らない（いいえ）」は2.6%となっている。

図Ⅲ-34 乳幼児突然死症候群（SIDS）の周知度



(16) 乳幼児揺さぶられ症候群の周知度

乳幼児揺さぶられ症候群について知っているかを聞いたところ、「知っている（はい）」が97.3%、「知らない（いいえ）」が2.4%となっている。

子どもの年齢による差はほとんどみられない。

表Ⅲ－35 乳幼児揺さぶられ症候群の周知度

	調査数	上段:実数、下段:%		
		はい	いいえ	無回答
全体	2717 100.0	2643 97.3	65 2.4	9 0.3
4か月児	738 100.0	711 96.3	26 3.5	1 0.1
10か月児	658 100.0	637 96.8	19 2.9	2 0.3
1歳6か月児	687 100.0	669 97.4	14 2.0	4 0.6
3歳児	634 100.0	626 98.7	6 0.9	2 0.3

(17) 低出生体重児が生まれる要因の周知度

低出生体重児が生まれる要因について知っているかを聞いたところ、「知っている（はい）」が70.7%、「知らない（いいえ）」が28.9%となっている。

子どもの年齢の年齢別でみると「4か月児」で「知っている」の割合はやや低くなっている。

表Ⅲ-36 低出生体重児が生まれる要因の周知度

		上段:実数、下段:%		
	調査数	知っている	知らない	無回答
全体	2717 100.0	1920 70.7	785 28.9	12 0.4
4か月児	738 100.0	509 69.0	229 31.0	0 0.0
10か月児	658 100.0	474 72.0	181 27.5	3 0.5
1歳6か月児	687 100.0	488 71.0	193 28.1	6 0.9
3歳児	634 100.0	449 70.8	182 28.7	3 0.5

出生順位別にみると、「知っている（はい）」の割合は、第1子が69.8%、第2子が69.1%に対し、第3子が79.0%と高くなっている。

表Ⅲ-37 低出生体重児が生まれる要因の周知度（出生順位別）

		上段:実数、下段:%			
	調査数	知っている	知らない	無回答	
全体	2717 100.0	1920 70.7	785 28.9	12 0.4	
出生 順位	第1子	1445 100.0	1008 69.8	431 29.8	6 0.4
	第2子	921 100.0	636 69.1	279 30.3	6 0.7
	第3子以上	343 100.0	271 79.0	72 21.0	- -
	無回答	8 100.0	5 62.5	3 37.5	- -



(18) 区の保健センターで育児などの相談ができることの周知度

各区の保健センターで育児などの相談ができることについて知っているかを聞いたところ、「知っている（はい）」が85.1%、「知らない（いいえ）」が14.4%となっている。

子どもの年齢別で見ると、「知っている（はい）」の割合は、4か月児で84.1%とやや低くなっている。

表Ⅲ-38 区の保健センターで育児などの相談ができることの周知度

		上段:実数、下段:%		
	調査数	はい	いいえ	無回答
全体	2717 100.0	2312 85.1	390 14.4	15 0.6
4か月児	738 100.0	621 84.1	116 15.7	1 0.1
10か月児	658 100.0	566 86.0	88 13.4	4 0.6
1歳6か月児	687 100.0	584 85.0	97 14.1	6 0.9
3歳児	634 100.0	541 85.3	89 14.0	4 0.6

### (19) 乳幼児健康診査の改善点

乳幼児健康診査の改善点について聞いたところ、何らかの《改善を望む》人の割合は73.3%となっている。

改善を望む内容は、「待ち時間を短縮してほしい」が39.3%と最も高く、次いで「実施日を増やしてほしい」が30.9%、「保健センター以外でも受けられるようにしてほしい」が30.1%、「医師や保健師などとゆっくり相談できるようにしてほしい」が22.5%などとなっている。

子どもの年齢別でみると、何らかの《改善を望む》人の割合は、3歳児が74.3%で最も高くなっている。また、同じく3歳児で「待ち時間を短縮してほしい」が45.4%で他の年齢に比べ高くなっている。

前回調査と比べると、何らかの《改善を望む》人は2.8ポイント減少している。改善を望む内容では、「実施日を増やしてほしい」、「医師や保健師などとゆっくり相談できるようにしてほしい」の割合はそれぞれ3.7ポイント、4.2ポイント増加している。一方「受付時間を延ばしてほしい」は9.1ポイント減少している。

表Ⅲ-39 乳幼児健康診査の改善点

		上段:実数、下段:%									
	調査数	し 実 施 日 を 増 や し て ほ い	ほ 受 付 時 間 を 延 ば し て	よ ゆ う に く り し て ほ い き ど	ゆ 医 師 や 保 健 師 な ど と	ほ 待 ち 時 間 を 短 縮 し て	し ブ ラ イ バ シ ー に 配 慮	し も 保 健 セ ン タ ー 以 外 に で	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	2717 100.0	839 30.9	340 12.5	610 22.5	1067 39.3	113 4.2	818 30.1	270 9.9	583 21.5	142 5.2	
4 か月児	738 100.0	199 27.0	75 10.2	190 25.7	263 35.6	33 4.5	218 29.5	62 8.4	182 24.7	35 4.7	
10か月児	658 100.0	244 37.1	65 9.9	160 24.3	215 32.7	30 4.6	192 29.2	88 13.4	134 20.4	32 4.9	
1歳6か月児	687 100.0	208 30.3	96 14.0	147 21.4	301 43.8	22 3.2	196 28.5	62 9.0	141 20.5	38 5.5	
3歳児	634 100.0	188 29.7	104 16.4	113 17.8	288 45.4	28 4.4	212 33.4	58 9.1	126 19.9	37 5.8	
前回調査	2966 100.0	808 27.2	641 21.6	543 18.3	1307 44.1	133 4.5	929 31.3	334 11.3	609 20.5	100 3.4	

出生順位別にみると、出生順位が遅くなるほど、「待ち時間を短縮してほしい」の割合は増加し、「医師や保健師などとゆっくり相談できるようにしてほしい」は減少している。

表Ⅲ-40 乳幼児健康診査の改善点（出生順位別）

		上段：実数、下段：%									
	調査数	し 実 施 日 を 増 や し て ほ い	ほ 受 付 時 間 を 延 ば し て	よ ゆ っ く り し て ほ し い	医 師 や 保 健 師 な ど と	ほ 待 ち 時 間 を 短 縮 し て	し ブ ラ イ バ シ ー に 配 慮 し て ほ し い	も 保 健 セ ン タ ー 以 外 に 受 け ら れ る よ う に	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	2717 100.0	839 30.9	340 12.5	610 22.5	1067 39.3	113 4.2	818 30.1	270 9.9	583 21.5	142 5.2	
出 生 順 位	第1子	1445 100.0	464 32.1	173 12.0	391 27.1	485 33.6	66 4.6	409 28.3	156 10.8	309 21.4	74 5.1
	第2子	921 100.0	272 29.5	115 12.5	180 19.5	412 44.7	31 3.4	298 32.4	88 9.6	205 22.3	44 4.8
	第3子以上	343 100.0	99 28.9	51 14.9	36 10.5	167 48.7	15 4.4	110 32.1	25 7.3	69 20.1	23 6.7
	無回答	8 100.0	4 50.0	1 12.5	3 37.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5